



「ソーシャルワーク講座・第17期」

2016年6月11日(土)・2016年6月26日(日)

2016年6月11日(土) 12:20~14:20

テーマ①

「子どもが育つ上で大切なこと」

奥山 真紀子

(成育医療研究センター 特命副院長)

1テーマからでも
受講可能です!!

2016年6月11日(土) 14:40~16:40

テーマ②

「精神科医の立場から精神鑑定や少年法を考える」

～板橋事件・石巻事件、他～

高岡 健 (児童精神科医)

2016年6月26日(日) 12:20~14:20

テーマ③

「学校の中で、今、何が起きているのか」

～2015年12月広島県府中市中3男子自殺、
2015年7月岩手県矢巾町中2自殺に共通する学校の構造～

芹沢 俊介 (思想家)

開始時間が
10分早くなりました!

2016年6月26日(日) 14:40~16:40

テーマ④

「『愛に疎まれて』-養育論として事件を読み解く」

～秋葉原無差別殺傷事件は何故起きたのか～

芹沢 俊介 (思想家)

<お申し込み方法など>

受講料：◆一般：1講座3,500円、全4講座12,000円

◆学生割引(25歳未満)及び職場団体割引(5名以上)：1講座1,800円、全4講座6,000円

振込先：みずほ銀行 成城支店 普通 8045776 特定非営利活動法人日本子どもソーシャルワーク協会

定員：50名

お申し込み：申込用紙をお持ちでない方は、電話かメール (Email: swkoza@jcsww.jp) にてご連絡ください。申込用紙をお送りいたします。当協会のHP (<http://www.jcsww.jp/>) からダウンロードすることも可能です。郵便、FAX、メール等にて事務局宛にご送付ください。申込書のご送付後、10日以内に受講料のお振込みをお願いいたします。お振込みを事務局にて確認させていただいた時点で、受付完了となります。受講料の返金はいたしませんので、ご了承ください。

スケジュール：1テーマにつき120分(講義90分、休憩10分、質疑応答等20分)

会場：砧総合支所4階 集会室(小田急線「成城学園前」駅下車。徒歩3分)

※諸事情により、講師・内容等が変更になる場合がございます。



ソーシャルワーク講座・第17期

本講座は、興味をお持ちの方であれば、どなたでもご参加いただけます。

これから子どもや家族にかかわろうとしている方や、すでに現場で活動されている皆さまのご参加をお待ちしております。

日本子どもソーシャルワーク協会のソーシャルワーク事業

- 「ユースワーカー」派遣：不登校やひきこもり、発達障がい等の子ども・若者に寄り添う訪問事業です。
 - 「ケアワーカー」派遣：養育困難家庭やひとり親家庭での育児・家事のサポートをすることにより、親子を支える訪問事業です。
 - 「びあすぽ」事業：事件を起こした少年に就学・就労・生活の自立等のサポートをすることにより、立ち直りを支える事業です。
- ※ 上記のソーシャルワークの現場をご用意しております。現在も、多くの学生さんや主婦、社会人の方に、ご活躍いただいております。
- 講座後、興味のある方は、ぜひワーカー活動にお申込みください（ワーカー活動は有償です）。

【講師のご紹介】

◇奥山真紀子（成育医療研究センター特命副院長）テーマ①

東京慈恵会医科大学卒業、同大学院博士過程修了。ボストンカレッジ小児思春期カウンセリング学修士号取得。独立行政法人国立成育医療研究センター・特命副院長・こころの診療部長。日本小児精神神経学会常務理事、一般社団法人日本子ども虐待防止学会（JaSPCAN）理事長、日本トラウマティックストレス学会理事。子どもの心に関わる分野を専門とし、トラウマ、発達障害、不登校などのほか、虐待を受けた子どもたちの治療経験も豊富。主な著書に、『虐待を受けた子どものケア・治療』（診断と治療社）、『子どもの心の診療医になるために』（南山堂）、『アタッチメント』（明石書店）がある。

◇高岡健（児童精神科医）テーマ②

岐阜大学医学部卒業。現在、岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター児童精神科部長・発達精神医学研究所長。前岐阜大学医学部准教授。日本児童青年精神医学会理事。「精神医療」編集委員。自閉症スペクトラムの臨床研究のほか、不登校・ひきこもりの臨床社会的研究、少年事件の精神鑑定を多く手がけている。主な著書に『「絶歌」論』『やさしい発達障害論』『続・やさしい発達障害論』『精神現象を読み解くための10章』（批評社）、『少年事件 心は裁判でどう扱われるのか』『精神鑑定とは何か』（明石書店）、『不登校・ひきこもりを生きる』（青灯社）がある。

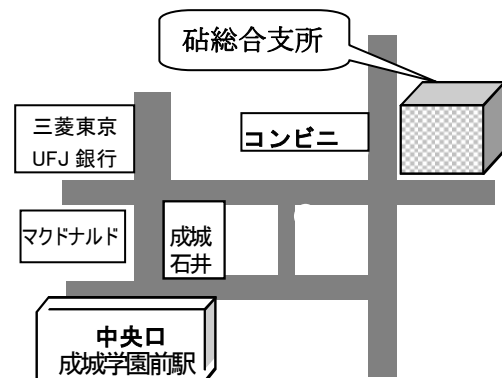
◇芹沢俊介（思想家）テーマ③④

上智大学経済学部卒。文芸・教育・家族など幅広い分野の評論活動を行っている。現代の家族や学校の切実な課題、子どもたちの問題を独自の視点で捉えている。主な著書に『養育事典』『子どものための親子論』（明石書店）、『家族という意志』（岩波新書）、『愛に疎まれて』『家族という絆が断たれるとき』『「孤独」から考える秋葉原無差別殺傷事件』（高岡健氏との共著）（批評社）、『母という暴力』（春秋社）、『親殺し』（NTT出版）、『引きこもりという情熱』『存在論的ひきこもり』論『殺し殺されることの彼方』（高岡健氏との共著）（雲母書房）がある。

【会場のご案内】砧総合支所 4階集会室

東京都世田谷区成城 6-2-1

（小田急線「成城学園前」駅下車、中央口から徒歩3分）



<主催・お問い合わせ先>

NPO 法人 日本子どもソーシャルワーク協会 事務局

〒157-0066 東京都世田谷区成城 2-29-12 TEL:03-5727-2133 FAX:03-3416-6994

E-mail: swkoza@jcsww.jp（講座お問い合わせ・申込先） 其他のお問合せは、E-mail: kodomo-sw@jcsww.jp まで

HP: <http://www.jcsww.jp/>（申込用紙のダウンロードはこちらから）